



令和8年度新任式

昨年度末7名の先生方とお別れしましたが、今年度新たに8名の先生方が赴任いたしました。大内中学校のために本当にお世話になります。これからよろしくお願ひいたします。

- ①石垣 ** 教頭先生（由利本荘市立鳥海中学校より）
- ②牧野 ** 先生（由利本荘市立子吉小学校より）
- ③阿部 ** 先生（秋田大学教育文化学部附属中学校より）
- ④藤田 ** 先生（由利本荘市立由利中学校より）
- ⑤菅谷 ** 先生（由利本荘市立鶴舞小学校より）＜本荘東中学校と兼任＞
- ⑥田口 ** 先生（新任）
- ⑦山口 ** さん（学校司書：由利本荘市立本荘北中学校より）＜大内小学校と兼任＞
- ⑧南 ** さん（技能主任：由利本荘市立子吉小学校より）

【新任の方々からのメッセージ】

○石垣 ** 教頭先生

現在は石脇の在住ですが、岩谷町6区出身で、出羽中学校の35期生となります。教員生活も長くなりましたが、はじめて大内地域でお世話になることになりました。これまで大内の皆様からいただいたたくさんのご恩に対して、ほんの少しでも報いることができたらと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

○牧野 ** 先生

大内地域での勤務は初めてです。生徒のみなさん、おうちの方々とたくさんお話しして、大内地域のことを知りたいです。また、生徒のみなさんが少しでも学校が楽しいと思ってくれるように、少しでも心配事が和らぐように、保健室からサポートしていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願ひいたします。

○阿部 ** 先生

このたびの人事異動により、再び大内中学校にお世話になることになりました。私は、18年前に大内中の前身である出羽中に5年間勤務しておりました。この校舎には多くの思い出があります。また、以前勤務していた当時、生徒の皆さんの元気なあいさつや、保護者・地域の皆様の温かな雰囲気、日々支えられていたことを懐かしく思い出します。再赴任となったご縁を大切にしながら、生徒一人一人の成長に寄り添った教育、そして私自身も様々なことに挑戦していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

○藤田 ** 先生

由利中学校から参りました。校舎内から外を眺めたとき、川沿いの桜並木がとてもきれいだと言われ、先生方から教えてもらい、今から開花をとても楽しみにしています。今年度は主に午前中の勤務となります。担当教科は国語です。大内中学校のみなさんと一緒に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

○菅谷 ** 先生

この度、大内中学校でお世話になることになりました、菅谷**です。本荘東中学校と兼任で、大内中学校には木曜日の勤務になります。1日でも早く学校に慣れ、少しでも子どもたちの成長の支えになれるよう頑張ります。どうぞ、よろしくお願ひします。

○田口 ** 先生

この度大内中学校に着任いたしました田口**と申します。子どもたちが「学校が楽しい」と感じられるよう、一人ひとりに寄り添いながら日々の学校生活に取り組んでまいります。子どもたちの成長を支えられるよう努力して参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

○学校司書 山口 ** さん

本荘北中学校からまいりました。みなさんの好きな場所に図書館がなれるよう全力で頑張ります。よろしくお願ひいたします。

○技能主任 南 ** さん

6年ぶりの中学校勤務になります。自主性を重んじる皆さんの元気なパワーをたくさんいただいて、自分の励みにしてがんばりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



新任者歓迎

これらよろしくお願ひします!

「折れない心」

令和8年度始業式式辞より

皆さん、おはようございます。

今日から、令和8年度の学校生活が始まりました。

2年生の皆さんの今年度のテーマは、先輩を支え、後輩をリードしていく一年です。

3年生の皆さんのテーマは、中学校生活のまとめとなる一年、そして進路を決める大切な一年です。

どの学年も期待とともに、不安を感じている人もいるでしょう。

今日は、新年度の始まりにあたり、皆さんにぜひ大切にしてほしい「折れない心」についてお話します。

昨年度末の修了式で、私はイチローさんについて話題にし、調子に左右されず、小さな準備を積み重ねる姿勢の大切さについてお話しました。さて、春季休業中は何か挑戦してみましたか。

今日はその続きとして、「折れない心とは何か」を、私たち本荘由利地域に深いゆかりのある人物の生き方から考えてみたいと思います。

紹介するのは、齋藤憲三さんです。

齋藤憲三さんは、にかほ市出身で、後に世界的な電子部品メーカーで、大内地域にも工場がある、TDKを創業した人物です。

しかし、齋藤さんの人生は、成功よりも失敗の連続から始まりました。

大学を卒業した後、炭焼き、養豚、養鶏、木材の販売など、地元を豊かにしたいという思いで、次々と事業に挑戦しました。

ところが、そのすべてが失敗に終わります。

普通なら、「もう無理だ」「自分には向いていない」とあきらめてしまうでしょう。

しかし、齋藤憲三さんは、そうはしませんでした。

失敗するたびに、「なぜうまくいかなかったのか」「次は何ができるか」を考え、もう一度立ち上がったのです。

何度失敗しても、「この失敗で終わりではない」

と、自分の可能性を信じ続けました。

そして、幾度もの失敗の先に出会ったのが、新しい素材「フェライト」でした。

齋藤さんは、この素材に未来を見出し、周囲が「成功するはずがない」と言う中で、事業化に挑戦します。

結果として、それがTDKの創業につながり、世界中で使われる製品を生み出すことになりました。

齋藤憲三さんの人生は、私達に「折れない心」とは、最初から強い心ではないということを教えてくれています。

うまくいかない。失敗する。それでも、やめずに考え続ける。もう一度やってみる。

その姿勢こそが、「折れない心」なのです。

皆さんの中学校生活でも、同じことが起こります。

学習でつまづくこと。

部活動で結果が出ないこと。

思うようにいかず、落ち込むこと。

そんなとき、心が折れそうになるのは自然なことです。

大切なのは、「そこで終わりにしないこと」です。失敗大歓迎、「失敗ウェルカム」です。

3年生の皆さん。受験や進路に向かう中で不安は、本気で自分の将来と向き合っている証です。

2年生の皆さん。責任が増え、失敗も増えていきます。

その経験の一つ一つが、皆さんを確実に強くします。

「折れない心」は、我慢する心ではありません。失敗しながらも、前に進もうとする心です。

今日できることを、今日やる。うまくいかなければ、やり直す。苦しいときには、誰かを頼る。

そうした日々の積み重ねが、皆さん一人一人の心を強くしていきます。

令和8年度が、皆さんにとって、自分に負けず、挑戦を続ける「折れない心」を育てる一年になることを願って、始業式の式辞とします。



春の全国交通安全運動実施中

春の全国交通安全運動が、4月6日（月）～4月15日（水）の10日間実施されています。新年度の環境変化に伴う交通事故防止が目的で、特にこどもと歩行者の安全確保、自転車の交通ルール遵守（青切符導入）が重点です。



特に、4月1日より、自転車の交通違反に「青切符」制度が導入され、信号無視やスマホ・傘差し・酒気帯び運転など約120項目に反則金が科されます。16歳以上が対象で、主に5,000円～6,000円程度、悪質な場合は「赤切符」で刑事罰（罰金・懲役）となります。

自転車通学をしている皆さんを中心に、安全の確保のために自転車の交通規則を再確認し、中学生の今から規則を守った運転に心がけてほしいと思います。